

電源地域 振興トピックス

町の活性化と“再生”に向けた各地の取り組み

このコーナーでは電源地域各地の地域振興に向けた話題を取り上げています。今回は、静岡県御前崎市の『じまんのごちそう』、北海道岩宇4ヶ町村のサイクリングツアー、福井県美浜町の生涯学習施設、福島県川内村で開催されたイベントなどの話題をご紹介します。



御

前崎に『じまんのごちそう』が誕生しました
『遠州御前崎夢咲牛ハヤシライス』 静岡県御前崎市

御前崎といえば「食材の宝庫」である。全国で3番目に長い日照時間、駿河湾近海で獲れた魚をすぐに運び込むことができ、御前崎港、家畜にストレスの少ない温暖な気候など、最高の食材を作り出す環境が整っている。また、より美味しい食材を求めて飽くなき探求心を持つ数多くの生産者



ちょっと贅沢な『夢咲牛ハヤシライス』



が、食材の持つポテンシャルを最大限に引き出している。そこで、その最高の食材を活かした『じまんのごちそう』を作るべく、御前崎市と地元事業者が共同で『じまんのごちそうメニュー』の開発に乗り出した。

この地域は、多くの外国人が訪れるニセコ地域に近接することから、取組みの一環として外国人ゲストを招いてサイクリングツアーを開催した。参加者は台湾のサイクリスト団体「中華民国自転車騎士協會」の会長及び理事と台湾の自転車雑誌「Bicycle Club」のカメラマンら5名。10月3日、岩内高原ホテルからスタート。途中、泊漁港で『いくらのしょうゆ漬けづくり』や共和町若手生産者



岩宇4ヶ町村の魅力満喫

食

とサイクリングツアー

その第一弾として完成したのが、内閣総理大臣賞受賞歴のある最高級黒毛和牛「遠州夢咲牛」の塊と御前崎産野菜を使用した『遠州御前崎夢咲牛ハヤシライス』である（御前崎市内の9店舗で絶賛発売中）。御前崎市では、9月29日（肉の日）を『夢ハヤシライスの日』として、

『遠州御前崎夢咲牛ハヤシライス』を学校給食で提供し、また、ハヤシライスの語呂にちなみ、全店舗共通884（ハヤシ）円で販売するなどプロモーションを行っている。さらに現在、第二弾・第三弾として、遠州一黒シャモと遠州黒豚を使ったメニュー開発に取り組んでいる。

北海道 岩宇4ヶ町村（泊村、岩内町、共和町、神恵内村）では、町村間の連携強化による地域の活性化を目的とし、平成25年より「岩宇4ヶ町村連携強化プロジェクト」として取り組んでいる。

ループ『グローアップ』による「ドマト収穫」などを体験した。

当日は悪天候で車移動が中心となったが、代わりに泊村アイスセンターで長靴アイスホッケーの体験や、



